

『専門学校生によるポスター等デザイン提案事業』の表彰式を行いました

9月27日(木)、「介護予防フェア」と「けんこうフェスタ2007 in ちゅうおう」のPR用ポスターをデザインした専門学校の学生に、中央区長から賞状と賞品が贈呈されました。

これは、中央区主催行事のポスターデザインを区内の美術系専門学校に通う学生から募集し、その中から最優秀賞に選ばれた作品をPR用ポスターとして活用するもので、選ばれた2作品は区民に親しまれる素晴らしいデザインだとイベント参加者や事業関係者から大変好評でした。

また、来年の1月および2月に開催予定の「ふれあいコンサート」と「ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山」についても、専門学校生からのデザインの応募などを行っておりますので、PR用ポスターへの採用作品が決まり次第、お知らせします。



行事名	最優秀賞受賞者
介護予防フェア (9月8～9日)	ヒューマンアカデミー <small>おの の ふみひろ</small> 大野文寛さん
けんこうフェスタ 2007 in ちゅうおう (9月28日)	札幌デザイナー学院 <small>むらかみかず さ</small> 村上和沙さん、 <small>しまぎきたかゆき</small> 嶋崎孝行さん、 <small>たなかだてい おり</small> 田中館伊織さん

◀ 9月27日に開催した表彰式
(最優秀賞を受賞した専門学校生となが おけんいち長尾賢一中央区長)



第7回

幌西まちづくりセンター

南11条西14丁目

TEL 3256



▲木下 淳嗣所長

人口/21,596
世帯数/10,505

第七回の「まちセン通信」は、幌西まちづくりセンターを紹介いたします。

※人口・世帯数は、各まちづくりセンターの所管区域ごとの統計です。
(住民基本台帳ベース・平成19年7月1日現在)

幌西地区は、明治四年に山形県から四戸が伏見方面に入植したのが始まりとされています。明治四十年には伏見稲荷神社が琴似村から現在地に移り、以後、近辺の地域が「伏見」と呼ばれるようになりました。赤い鳥居の連なる参詣道がある神社では、毎年九月九日に「子ども相撲大会」が行われています。

昭和の初めまで近郊農業地帯として発展し、牧場もありましたが、現在では一万世帯、人口二万人を超える住宅街となり、近年は高層マンションの建設も増えています。

地域活動は、連合町内会を中心として、ふれあいセンター(福祉のまち推進センター)ほか各種団体の連携により活発に行われており、防犯関係など各種講習会、子どもの見守り活動、夏祭り、一人暮らしの高齢者の方を対象とした



▲伏見中学校での防災訓練の様子

「ふれあいの集い」、大運動会など、多くの事業が実施されています。

年二回行われている防災訓練では、各町内会の防災担当役員の方々が訓練の指導員を務めるなど、地域の皆さんが各事業に積極的に取り組まれています。

活動内容については、中央区役所のホームページ「あなただけの地区・地区の出来事」で紹介しています。

(木下 淳嗣)